

平成20年度後期 学生による授業評価アンケート集計結果

滋賀県立大学では、学生の皆さんの協力の下に、学生による授業評価アンケートを実施しています。このたび、平成20年度後期科目について実施したアンケート結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成21年1月14日(水)から平成21年2月16日(月)まで (※ 集中講義は別途)

(3) 実施科目

アンケート実施率は75.6%(昨年度同期73.1%)で、回答率は69.8%(昨年度同期69.4%)であった。

科目区分	開講科目	アンケート実施科目				※ 昨年度回答率
		科目数	受講登録者数	回答数	回答率(%)	
環境科学部	107	89	4,935	3,234	65.5%	62.4%
工学部	83	78	5,141	3,606	70.1%	67.9%
人間文化学部	151	67	4,133	2,759	66.8%	67.0%
人間看護学部	27	17	1,031	923	89.5%	88.0%
国際教育センター	147	138	4,175	3,418	81.9%	82.1%
人間学	18	14	1,993	1,004	50.4%	53.6%
合計	533	403	21,408	14,944	69.8%	69.4%

(4) 設問内容

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

- ①4回以上欠席 ②3回欠席 ③ 2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席

設問2 あなたは平均すると1週間にどれくらい勉強していますか

- ①0時間 ②0～5時間 ③5～10時間 ④10～15時間 ⑤15時間以上

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

- ①0分 ②0～30分 ③30分～1時間 ④1～2時間 ⑤2時間以上

設問4 授業の内容は、興味のもてるものでしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問5 授業の内容は、理解できましたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問6 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

- 設問7 この授業は、履修の手引きと内容が一致していましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問8 教員の教え方は適切でしたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問9 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問10 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問11 この授業の満足度は、どの程度になりますか
①とても低い ②やや低い ③普通 ④やや高い ⑤とても高い
- 設問12 (選択科目の場合のみ)この授業を履修した動機は何ですか(複数回答可)
①単位が取れそうだから ②友人が取ったから ③時間割の都合
④専門性向上・資格取得のため ⑤興味・関心があったから 0:その他
- 設問13 (語学・情報系科目のみ)この授業を通じてどの程度の力が身につくと思いますか
①全く身につかない ②あまり身につかない ③どちらともいえない
④ある程度身につく ⑤とても身につく

※ このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

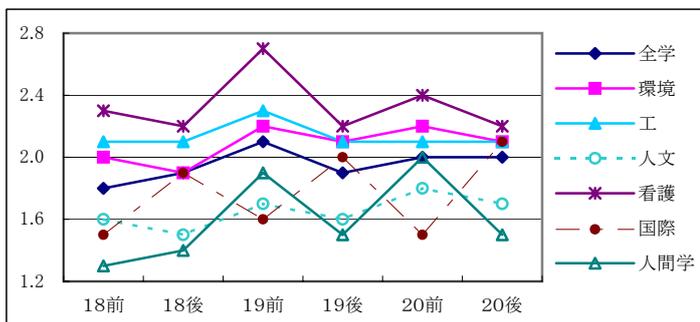
アンケート項目	今年度							昨年度
	環境	工	人文	人看	国際	人間学	全学	全学
Q1.授業への出席	4.1	4.4	3.8	4.7	4.1	3.9	4.1	4.1
Q2.1週間の平均学習時間	2.5	2.4	2.3	2.7	2.4	2.3	2.4	2.3
Q3.この授業に対する学習時間	2.1	2.1	1.7	2.2	2.1	1.5	2.0	1.9
Q4.授業の内容への興味	3.6	3.3	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6	3.6
Q5.授業の内容の理解	3.4	3.1	3.4	3.6	3.5	3.3	3.3	3.4
Q6.より深く学びたくなったか	3.5	3.2	3.5	3.7	3.5	3.3	3.4	3.5
Q7.履修の手引きとの一致度	3.5	3.4	3.5	3.6	3.5	3.4	3.5	3.5
Q8.教員の教え方は適切か	3.6	3.3	3.6	3.6	3.7	3.5	3.5	3.6
Q9.教え方で優れていた点	—	—	—	—	—	—	—	—
Q10.教え方で工夫すべき点	—	—	—	—	—	—	—	—
Q11.授業の満足度	3.5	3.3	3.5	3.8	3.6	3.4	3.5	3.5
Q12.履修の動機(選択科目の場合)	—	—	—	—	—	—	—	—
Q13.どの程度身についたか	—	—	—	—	3.6	—	—	—

※ Q9、Q10およびQ12については、ポイント評価でないため平均ポイントは示していない。

全学平均で昨年度同期で0.2ポイント以上変化のある項目はなく、概ね昨年度同期と同じ傾向であった。

(2) 平均ポイントの学期別推移 (過去3カ年)

① 当該授業に対する学習時間のポイント



全学平均ポイントは2.0で昨年度同期(1.9)とほぼ同じで、当該授業に対する学習時間は多いとは言えない。 ※ 選択肢「2」は0~30分

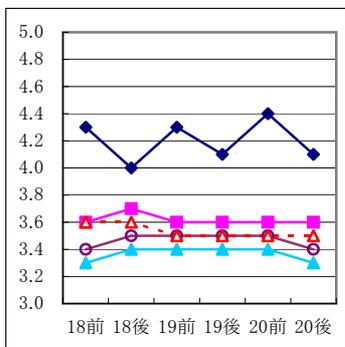
大まかな傾向としては、前期より後期の方がわずかながら少ない傾向にある。特に人間学については、人間探求学(1年次前期:必修科目)がある前期との差が顕著に表れている。

ただし、国際教育センターについては、必修科目である語学(通年)が後期に一括してアンケートを実施しているため、後期のポイントが高くなっている。

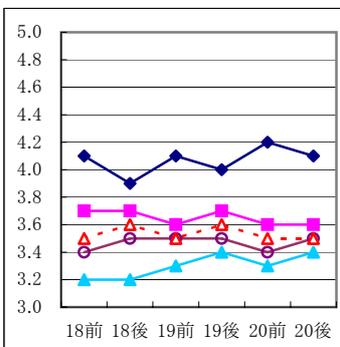
② 出席・興味・理解・深化・手引きに関する学部等別のポイント



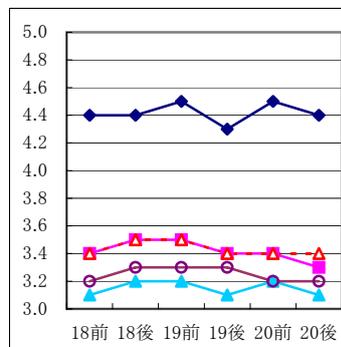
ア 全学



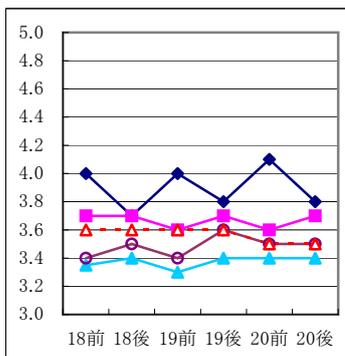
イ 環境科学部



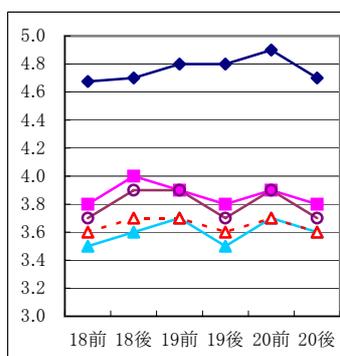
ウ 工学部



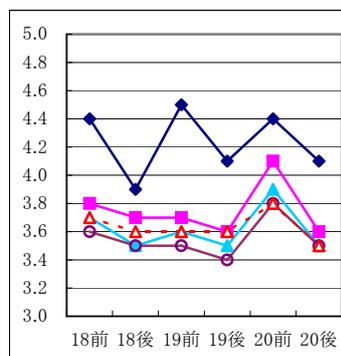
エ 人間文化学部



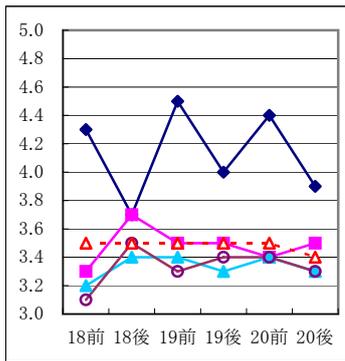
オ 人間看護学部



カ 国際教育センター



キ 人間学



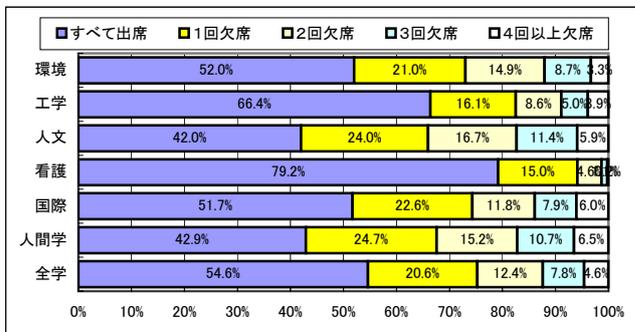
全般的には、昨年度同期と比べ大きな差はなかった。

(おもな特徴)

- ① 「出席」については、前期が高く後期が低い傾向が再確認することができた。
- ② 上記①の傾向は、人間学で特に顕著である。これは、前期に人間探求学(1年次:必修科目)が配置されていることによるものと思われる。
学部の中では、人間文化学部が前後期での出席状況の差が一番大きくなっている。
- ③ 学部別に見れば、引き続き人間看護学部が高いポイントで推移している。

(3) 項目別結果 — 学部等別 —

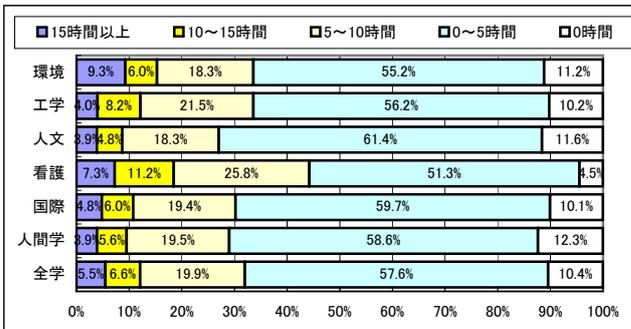
設問1 この授業にどれだけ出席しましたか



「すべて出席」「1回欠席」とする回答の合計が約75%となるなどアンケート結果からは引き続き出席状況は良いと思われる。

ただし、アンケートの回収率が約70%であること、毎期の欠席不可が概ね10%あることに鑑みると、アンケート結果をそのまま本学の実態として受けとることはできないと思われる。

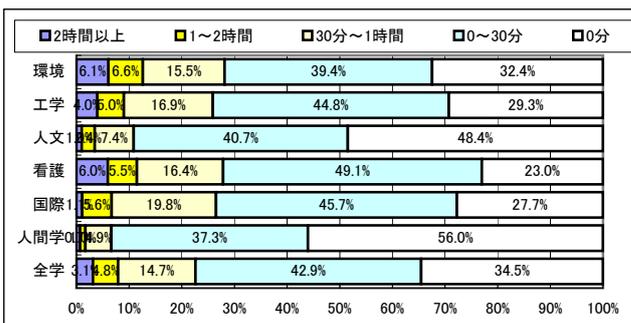
設問2 あなたは平均すると1週間にどれぐらい勉強していますか



平均して1日1時間程度学習している学生は3分の1程度で、データを見る限りにおいて、単位の実質化の観点からは十分な学習時間が確保されているとは言えない状況である。

しかし、「0時間」をする回答は、すべての区分で昨年度同期(5.1%~16.3%)より少なくなっている。

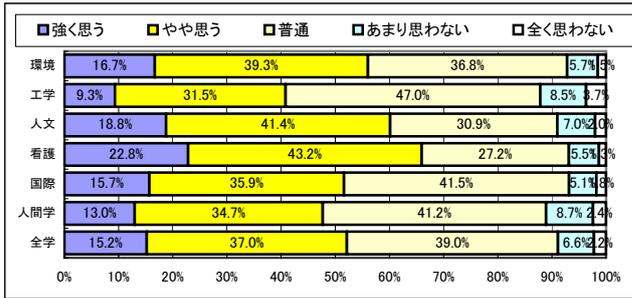
設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか



設問2と同様に、データを見る限りにおいて、単位の実質化の観点からは十分な学習が行われているとはいえない状況である。

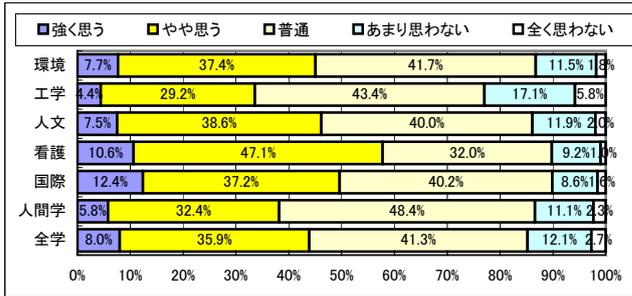
しかし、「0分」とする回答は、すべての区分で昨年度同期(29.3%~60.4%)より少し少なくなってきた。

設問4 授業の内容は、興味のもてるものでしたか



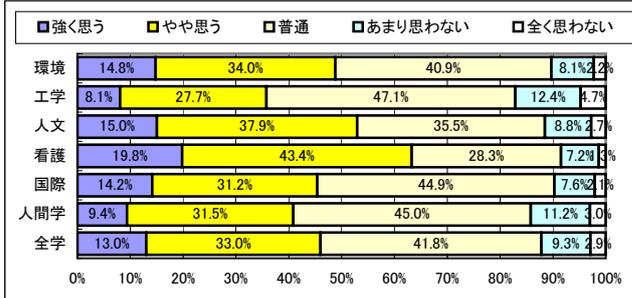
昨年度同期と概ね同様の結果となっている。否定的な回答は約10%程度となっている。

設問5 授業の内容は、理解できましたか



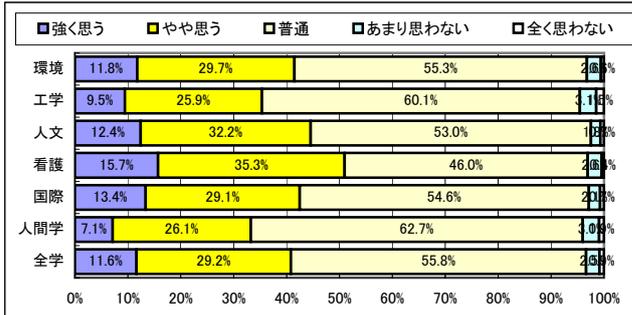
昨年度同期と概ね同様の結果となっているが、工学部で「あまり思わない」「全く思わない」とする回答の合計が約1/4あり、少し気になる。

設問6 より深く学びたい気持ちになりましたか



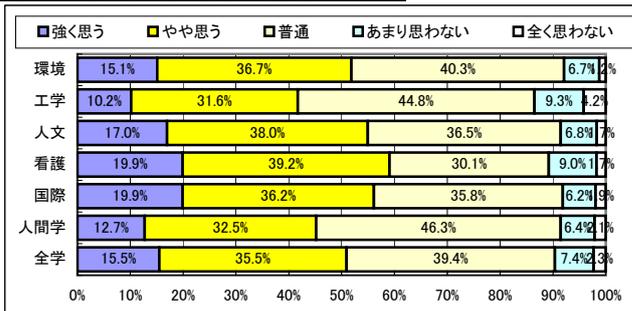
昨年度同期と概ね同様の結果となっている。

設問7 この授業は、履修の手引きと内容が一致していましたか



昨年度同期と概ね同様の結果となっており、「あまり思わない」「全く思わない」とする回答はわずかであった。

設問8 教員の教え方は適切でしたか



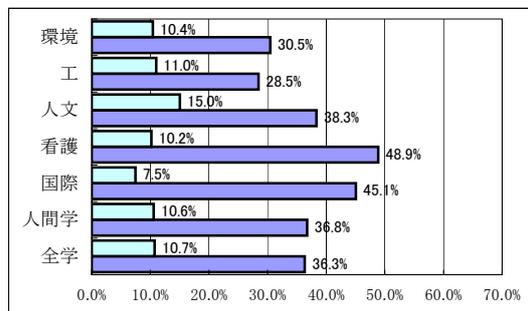
昨年度同期と概ね同様の結果となっており、「強く思う」「やや思う」とする回答の合計が概ね50%程度であった。

設問9 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

設問10 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

① 話し方・声の大きさ

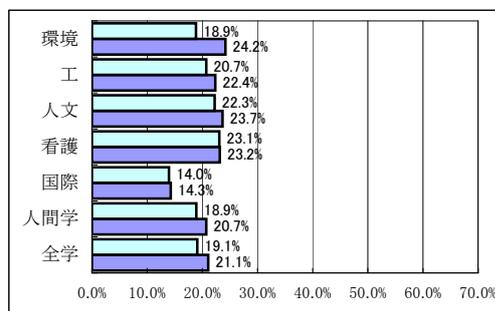
□工夫すべき
■優れていた



昨年度同期と比べ、いずれの学部等でも「優れていた」とする回答が非常に大きく増加している。

② 板書・スクリーン等

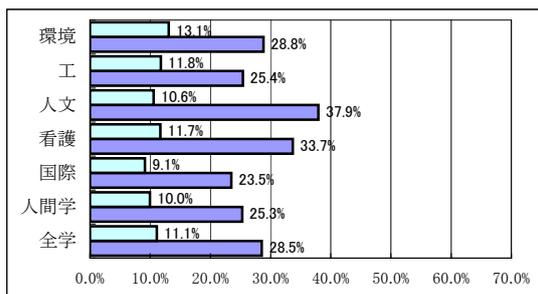
□工夫すべき
■優れていた



他の項目に比べ、肯定的な回答と否定的な回答が最も拮抗しており、その要因を検討する必要があるかもしれない。

③ テキスト・資料等の教材

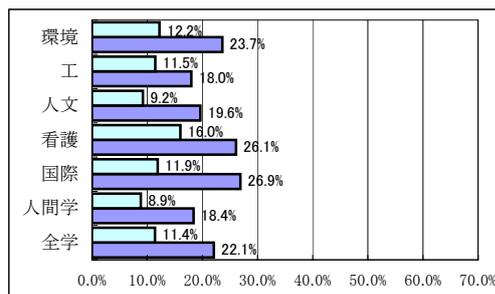
□工夫すべき
■優れていた



昨年度同期と同様に、「優れていた」とする回答が多い。

④ 授業の組み立て

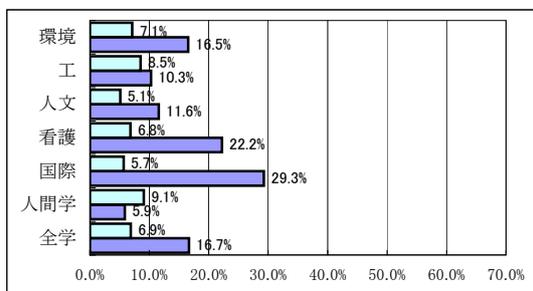
□工夫すべき
■優れていた



昨年度同期は「優れている」と「工夫すべき」とが拮抗していたが、今期は「優れていた」とする回答が増え、「工夫すべき」とする回答は減っている。

⑤ 学生とのコミュニケーション

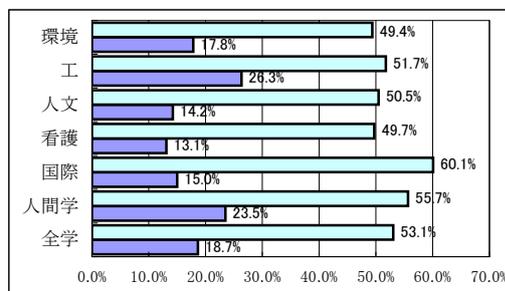
□工夫すべき
■優れていた



学生とのコミュニケーションは、引き続き良好な関係が維持されていると思われる。

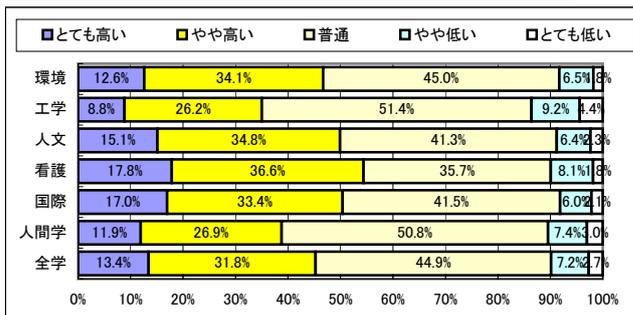
⑥ 特にない

□工夫すべき
■優れていた



引き続き「工夫すべき」点は「特になし」とする回答が全学で50%を超えている。

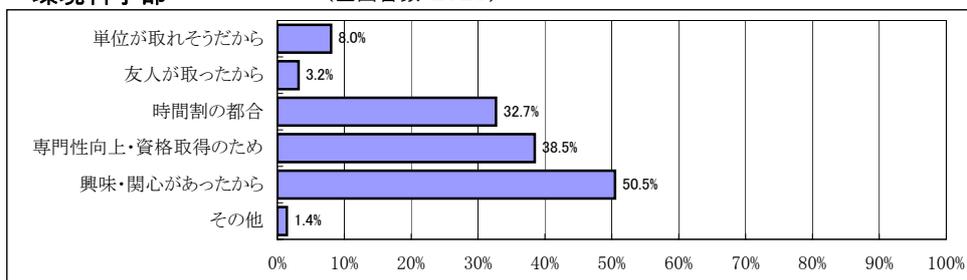
設問11 この授業の満足度は、どの程度になりますか



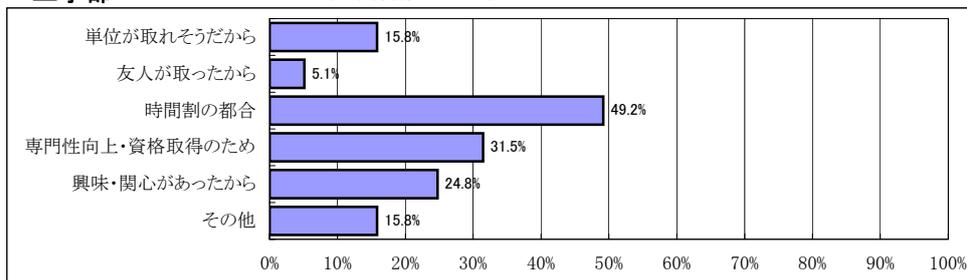
昨年度同期と概ね同様の結果となっている。

設問12 (選択科目の場合のみ)この授業を履修した動機は何ですか(複数回答可) (単位:%)

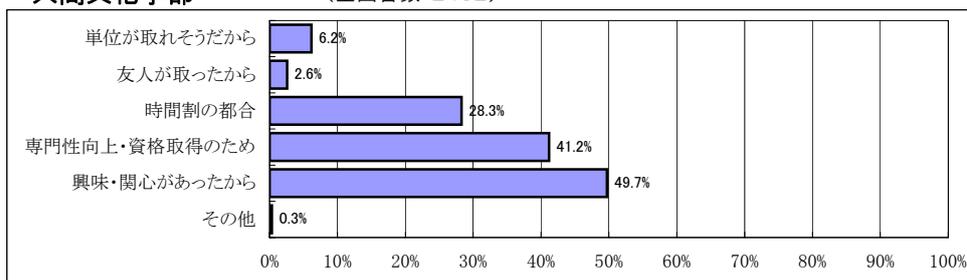
環境科学部 (全回答数:2328)



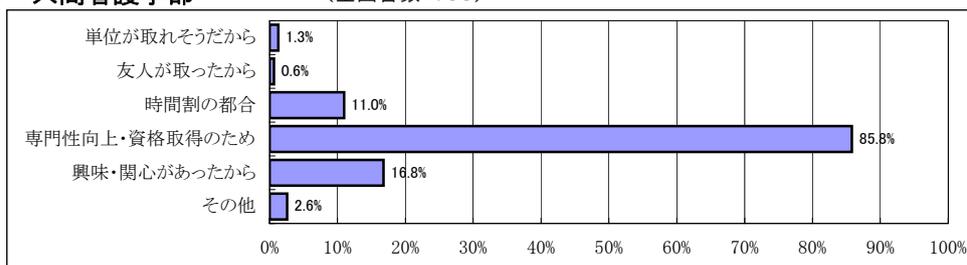
工学部 (全回答数:1446)



人間文化学部 (全回答数:2482)

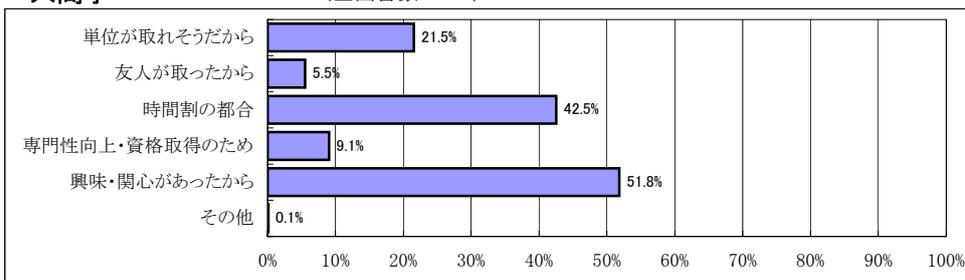


人間看護学部 (全回答数:155)



人間学

(全回答数:905)



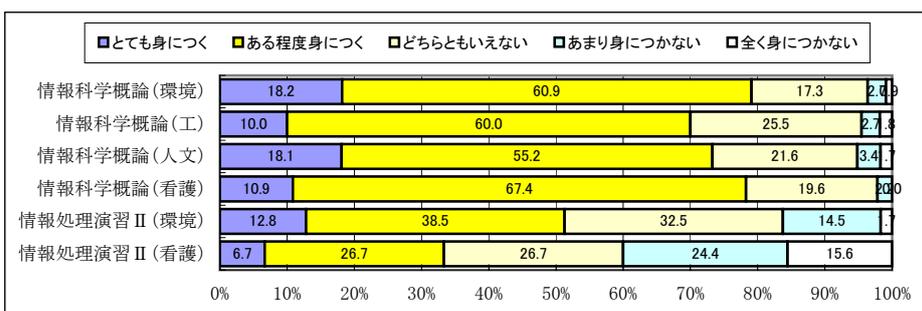
環境科学部、人間文化学部は、「興味・関心があったから」が最も多くなっている。

工学部は、必修科目が多いためか「時間割の都合」が最も多くなっている。

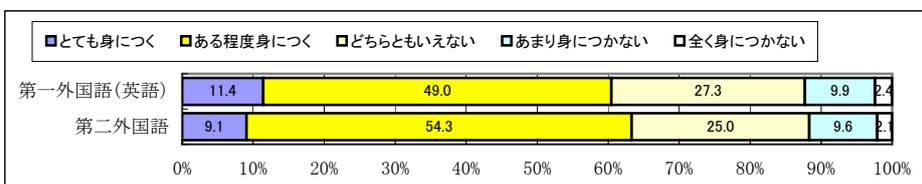
人間看護学部は、「専門性向上・資格取得のため」が最も多くなっているが、もともと必修科目がほとんどであるため、回答数も非常に少なくなっている。

人間学は、「興味・関心があったから」が最も多くなっているが、「単位が取れそうだから」「時間割の都合」とする回答も多くなっている。

設問13 (語学・情報系科目のみ)この授業を通じてどの程度の力が身につくと思いますか



情報関連科目では、情報科学概論は「とても身につく」「ある程度身につく」とする回答の合計が70～80%ほどあり、「あまり身につかない」「全く身につかない」とする否定的回答はほとんどない。一方で、情報処理演習Ⅱ(看護)では、「あまり身につかない」「全く身につかない」とする回答の合計40%に達しており、その原因について検討する必要があると思われる。



第一外国語(英語)、第二外国語とも「とても身につく」「ある程度身につく」とする回答の合計が60%以上ある。これらの結果とTOEICテストとの関連についても、探る必要があると思われる。

今回お知らせするこの結果が、皆さんの今後の学習の参考となれば幸いです。

なお、授業評価アンケートでは、裏面に自由記述欄を設けていますので、授業を受けて感じたこと、意見等積極的に記入してください。